

がん教育部会の設置について（案）

1 目的

子どものころから、がんの予防も含めた健康教育を行い、がんについての正しい認識を持つことは重要であり、本県では独自に NPO 法人等により、高校生へのがん教育が行われている実績があります。

学校指導要領には、がんの教育を含めた健康教育がされており、アンケートによれば、講師の派遣や指導用教材を要望する声も聞かれています。

がん教育部会では、児童・生徒へのがんに関する正しい知識の普及のための方策、教育関係者の理解の促進のための方策を検討します。

2 審議事項

(1) がん教育の目的と対象

目的：①児童・生徒へのがんに関する正しい知識の普及

②教育関係者へのがん教育に関する理解の促進

対象：①児童・生徒（小中高生）

②養護教諭・衛生責任者

(2) 教材の作成

3 委員（案）

がん教育を実践している関係患者団体の代表、学校保健を担当する県医師会役員、学校現場の管理者代表、教員代表、養護教諭代表、保護者の代表等を構成委員とする。

NO	審議会委員 専門委員の別	委員氏名	委員役職名	備考
1	審議	宮崎 勝	千葉大学医学部附属病院長	部会長
2	審議	齋藤 とし子	千葉県患者団体協議会長	患者団体
3	専門	森本 浩司	千葉県医師会理事	医師会（学校保健医）
4	専門	金井 弘子	ねむの会代表	がん教育実践患者団体
5	専門	大田 紀子	PTA 連絡協議会役員	保護者
6	専門	勝又 美代志	千葉県中学校長会 調査研究部会長	学校長代表又は 学識経験者
7	専門	小坂 祐一	千葉県保健主事会	教員代表
8	専門	末吉 昭子	千葉県養護教諭会	養護教諭会代表
9	専門	寺本 久美子	千葉県養護教諭会	養護教諭会代表

※事務局として、県教育行政担当者、参加する。

4 任期

2年以内とする（最初の任期は委嘱日から平成26年7月31日までとする。）。

5 5年間の各年の審議内容

（1）がん教育の目的と対象

25年度 ①実態の把握のための調査内容※の検討

②調査の実施

③実施結果に基づく課題の検討、がん教育の目的と対象の決定

26年度 ①がん教育の具体策の検討

②予算計上

27年度以降 ①がん教育の実施

懸案①教育現場でがん教育を盛り込むにあたり、対象が最低でも小学校中学校高校と3つの年代がある。5年間ですべての年代のがん教育を実施することができるのか、年代を絞ることが必要か。その後の動きも見据えた計画が必要ではないか。

②小児がんの実態調査による課題抽出後、学校教育と関係した課題を「がん教育」に盛り込む必要があるか。

※調査内容項目（案）：がん教育実施の有無、教育内容、実施形態、教育担当、教育手段、がん教育希望

（2）教材の作成

25年度 ①教材の内容とその使用方法の検討

②予算計上

26年度 ①作成と配布

懸案①国のがん教育の動きは未知数だが、国も教材を作るのなら、その動きとの連動することが必要ではないか。がんサポートブックのような形態になるか。

*タイムスケジュール (案)

	25	26	27	28	29
(1)	アンケート調査 内容の検討	がん教育の具体 策の検討	がん教育の実施		
	アンケート調査 の実施	がん教育の予算 計上			
	調査結果に基づ くがん教育の目 的と対象の決定				
(2)	教材の内容と使 用方法の検討	教材作成と配布			
	教材作成の予算 計上				

国の動きとの連動